

## 静岡県福祉サービス第三者評価の結果

### ◎ 評価機関

#### 1 福祉サービス事業者 情報

##### (1) 事業者概要

名 称	社会福祉法人静岡県社会福祉協議会
所 在 地	静岡市葵区駿府町1-70
評価実施期間	21年10月15日~22年3月11日
評価調査者番号	① H16-a003
	② H17-b003
	③

事業所名称： (施設名) 天林寺保育園	種別： 保育所
代表者氏名： (管理者) 二橋 つや子	開設年月日 昭和51年4月1日
設置主体：社会福祉法人 真徳会 経営主体：社会福祉法人 真徳会	定員 90人 (利用人数) 109人
所在地：〒430-0905 浜松市中区下池川27-1	
連絡先電話番号： 053-473-7718	FAX番号 053-473-7718
ホームページアドレス	<a href="http://www6.ocn.ne.jp/~tenriho">http://www6.ocn.ne.jp/~tenriho</a>

##### (2) 基本情報

サービス内容 (事業内容)	施設の主な行事		
一般保育 延長保育 一時保育 産休明け保育 子育て支援事業	入園進級の集い、花祭り、春の遠足、懇談会、健康診断、老人会交流、夏祭り、防災訓練、1泊保育、いも掘り遠足、生活発表会、縦割りクッキング、もちつき会、保育参観、なかよし会、卒園のつどい		
居 室 概 要	居室以外の施設設備の概要		
保育室 5室 乳児室 1室	調乳室、相談室、多目的ホール、ランチルーム、調理室、配膳室、教材室、洗濯室、医務室職員室、休憩室、プール、砂場、木製ハウス、すべり台、ぶらんこ		
職員の配置			
職 種	人 数	職 種	人 数
園長	1人	調理員	1人
保育士	12人	調理員 (パート)	1人
保育士	7人	事務員 (パート)	1人
栄養士	1人		

## 2 評価結果総評（利用者調査結果を含む。）

### ◆ 特に評価の高い点

- ・ビルが林立する街中にあっても、広い天林寺境内に在るためか大変静かで落ち着いた環境にあります。
- ・評価資料が各項目ごとに仕分けられ、組織作りやフローシートなども周到に準備できています。
- ・2歳児から5歳児までの園児が、のびのび自由に使用する、広くて開放的なホール（ランチルーム）は圧巻で、有効的に活用されています。
- ・子どもの発達に合わせた機能の訓練にも役立ち、温もりを感じさせる手作りの遊び道具が豊富にあり有効に活用されています。
- ・食育への取り組みは、園での野菜栽培、毎日のメニューへの活用、クッキング、食材を3色のグループに分けての栄養教育など充実しています。
- ・教室の活用が開放的であるため、異年齢児の交流が活発にできています。
- ・保育の理念・基本方針が明文化され、理念に基づき経営方針が細分化されていて、保育計画に反映されています。
- ・マニュアルなどの整備も確実に行われ、研修計画・中長期計画もかなり綿密に行われているほか、会議などもかなり頻繁に行うなど努力されています。
- ・保育室・食事の部屋が別々になっており、クッキングの部屋も別棟にあるなど食育に積極的に取り組んでいます。

### ◆ 特に改善を求められる点

- ・組織作りやフローシートなどは充実していますが、具体的な対応方法などに関しては、今後職員全体で検討していくことが求められます。
- ・職員全体への周知方法が若干曖昧です。確実に情報を周知させる方法（当事者の押印あるいはサインなど）を検討することが求められます。
- ・保護者アンケートからは、職員の定着率に関して危惧する声が聞かれています。安定した質の高いサービス提供には、職員の経験年数も重要な要素となりますのでこの点に関する対策を検討が求められます。

## 3 第三者評価結果に対する事業者のコメント

受審するにあたり、丁度経験の少ない若い職員が多い時期で迷いましたが、各項目を一つずつ当たって、マニュアルの見直しや足りない記録簿を作成しました。その為、職員会議の回数を増やし職員間の共通理解を深めました。共通理解をするために、一丸となって進めたことが最大の収穫であったと思います。

利用者アンケート回収率が、96.55%と利用者の関心の高さに驚きました。

受審してこらからの課題も明らかになりましたので、私たち職員は、その期待に応えるべく、子どもたちの最善の利益を求め、運営管理、保育サービス等の一層の向上を心がけ、保護者と地域との連携を図りながら、更に努力してまいります。

#### 4 評価分類別評価内容

<p>評価対象Ⅰ</p> <p>1 理念・基本方針</p>	<p>*理念・基本方針が明文化されていて保育方針に反映されている</p>
<p>2 計画の策定</p>	<p>*計画の策定は、職員会議等で検討し策定されており、職員へ説明周知されている。</p>
<p>3 管理者の責任とリーダーシップ</p>	<p>*保育サービスの向上を目指して、経営や業務の改善に向けた取り組みの意義や目的を職員に周知し共通認識を持って取り組むなど指導力を発揮している。</p>
<p>評価対象Ⅱ</p> <p>1 経営状況の把握</p>	<p>*経営コンサルタント・税理士などの経営指導も受けていて、経営状況は的確に把握されている。</p>
<p>2 人材の確保・養成</p>	<p>*組織として業務分担や係・行事分担等が明確になっている。 *職員の勤務年数に格差があり、具体的な必要な人材の確保についてのプランは十分ではない。</p>
<p>3 安全管理</p>	<p>*マニュアルの整備は多方面にわたって作成し、職員にも周知され安全確保体制が整備されている。</p>
<p>4 地域との交流と連携</p>	<p>*小学校・民生委員・自治会長等との交流を図るなど連携をとっている。また小学校の行事に参加したり、卒園児の保育園へ招待・本の貸し出しなど積極的に行っている。</p>
<p>評価対象Ⅲ</p> <p>1 利用者本位の福祉サービス</p>	<p>*積極的な研修会の参加が職員間の共通理解により、作られたマニュアルが生かされている。 *子ども一人ひとりへの理解と受容に努めようとしている。 *アンケート、意見箱の他、個人の連絡帳・聴取書・懇談会などの場を活用し積極的に対応している。 *利用者満足の向上に向けた取り組みのマニュアルに相談内容に沿ったフローシートが用意されている。</p>

2 サービスの質の確保	<ul style="list-style-type: none"> <li>* 「児童憲章」「子どもの権利条約」などを十分理解し、研修も行っている。</li> <li>* 児童票を中軸として年齢ごとの保育計画が策定され、定期的なアセスメントをしている。</li> <li>* 広々とした採光の良いホールを中心に、各クラスの空間も棚などを有効活用して良い環境ができています。</li> <li>* 「手作りの小物：布製の野菜類・がらがらなど」がたくさん用意され活用されている。</li> </ul>
3 サービスの開始、継続	<ul style="list-style-type: none"> <li>* 分かり易い「入園のしおり」を初め、ホームページを更新し、公開している。</li> <li>* サービスの開始に関する仕組みが明示され、必要な内容では保護者からの同意書を得ている。</li> <li>* 転園、退園、卒園などの際、必要な書類はすべて雛形に沿って用意できている。</li> </ul>
4 サービス実施計画の策定	<ul style="list-style-type: none"> <li>* 入園時フローシートがあり、定められた様式・手順に従ってアセスメント等が行われている。</li> <li>* 利用者の課題を児童票で対応しているが、サービス場面ごとに区分けして明示はされていない。</li> </ul>

## 5 評価細目の第三者評価結果

注：評価結果については、判断基準に基づいて評価した結果を3段階（A、B、C）で評価細目ごとに表す。

なお、表には評価項目の番号や評価細目の基準内容を明記し、評価分類ごとに区分する。

## 5 評価細目の第三者評価結果〔保育所〕

### 評価対象Ⅰ 福祉サービスの基本方針と組織

#### I-1 理念・基本方針

		第三者評価結果
I-1-(1) 理念、基本方針が確立されている。		
	① 理念が明文化されている。	A
	② 理念に基づく基本方針が明文化されている。	A
I-1-(2) 理念や基本方針が周知されている。		
	① 理念や基本方針が職員に周知されている。	A
	② 理念や基本方針が利用者等に周知している。	A

#### I-2 計画の策定

		第三者評価結果
I-2-(1) 中・長期的なビジョンと計画が明確にされている。		
	① 中・長期計画が策定されている。	A
	② 中・長期計画を踏まえた事業計画が策定されている。	A
I-2-(2) 計画が適切に策定されている。		
	① 計画の策定が組織的に行われている。	A
	② 計画が職員や利用者等に周知されている。	B

#### I-3 管理者の責任とリーダーシップ

		第三者評価結果
I-3-(1) 管理者の責任が明確にされている。		
	① 管理者自らの役割と責任を職員に対して表明している。	A
	② 遵守すべき法令等を正しく理解するための取り組みを行っている。	A
I-3-(2) 管理者のリーダーシップが発揮されている。		
	① 質の向上に意欲を持ちその取り組みに指導力を発揮している。	A
	② 経営や業務の効率化と改善に向けた取り組みに指導力を発揮している。	A

### 評価対象Ⅱ 組織の運営管理

#### Ⅱ-1 経営状況の把握

		第三者評価結果
Ⅱ-1-(1) 経営環境の変化等に適切に対応している。		
	① 事業経営をとりまく環境が的確に把握されている。	A
	② 経営状況を分析して改善すべき課題を発見する取り組みを行っている。	A
	③ 外部による評価・監査が実施され経営改善に取り組んでいる。	A

## Ⅱ-2 人材の確保・養成

		第三者評価結果
Ⅱ-2-(1) 人事管理の体制が整備されている。		
①	保育所内の組織について職制・職務分掌を明確にしている。	A
②	必要な人材に関する具体的なプランが確立している。	B
③	人事考課が客観的な基準に基づいて行われている。	A
Ⅱ-2-(2) 職員の就業状況に配慮がなされている。		
①	職員の就業状況や意向を把握し必要があれば改善する仕組みが構築されている。	A
②	職員に対する福利厚生事業が積極的に行われている。	A
Ⅱ-2-(3) 職員の質の向上に向けた体制が確立されている。		
①	職員の教育・研修に関する基本姿勢が明示されている。	A
②	個別の職員に対して組織としての教育・研修計画が策定され計画に基づいて具体的な取り組みが行われている。	A
③	定期的に個別の教育・研修計画の評価・見直しを行っている。	B
Ⅱ-2-(4) 実習生の受け入れが適切に行われている。		
①	実習生の受け入れに関する基本的な姿勢を明確にし、体制を整備している。	A
②	実習生の育成について積極的な取り組みを行っている。	B

## Ⅱ-3 安全管理

		第三者評価結果
Ⅱ-3-(1) 子どもの安全を確保するための取り組みが行われている。		
①	緊急時（事故、感染症の発生時など）の対応など利用者の安全確保のための体制が整備されている。	A
②	事故や災害の発生時に対応できるマニュアルがあり、全職員に周知されている。	A
③	調理場、水周りなどの衛生管理は、マニュアルに基づいて適切に実施されている。	A
④	食中毒の発生時に対応できるマニュアルがあり、さらにその対応方法については、全職員にも周知されている。	A
⑤	感染症発生時に対応できるマニュアルがあり、発生状況を保護者、全職員に通知している。	A
⑥	発生した事故を把握している。	A
⑦	事故防止のためのチェックリスト等があり、事故防止に向けた具体的な取り組みを行っている。	A
⑧	利用者の安全確保のためにリスクを把握し対策を実行している。	A
⑨	不審者の侵入時などに対応できるマニュアルがあり、全職員に周知されている。	A

## Ⅱ-4 地域との交流と連携

		第三者評価結果
Ⅱ-4-(1) 地域との関係が適切に確保されている。		
①	小学校との間で、小学生と園児が交流機会を設け、職員間の話し合いや研修等の連携の機会をもっている。	A
②	利用者と地域とのかかわりを広げる働きかけを大切にしている。	A
③	施設が有する機能を地域に還元している。	A
④	ボランティアの受け入れに対する基本姿勢を明確にし、体制を確立している。	A
Ⅱ-4-(2) 関係機関との連携が確保されている。		
①	必要な社会資源を明確にしている。	A
②	関係機関等との連携が適切に行われている。	A
③	虐待を受けていると疑われる子どもの早期発見に努め、得られた情報が速やかに施設長まで届く体制になっている。	A
④	虐待を受けていると疑われる子どもの保護者への対応について、児童相談所などの関係機関に照会、通告を行なう体制が整っている。	A
Ⅱ-4-(3) 地域の福祉向上のための取り組みを行っている。		
①	地域の福祉ニーズを把握している。	A
②	地域の福祉ニーズに基づく事業・活動が行われている。	A

## 評価対象Ⅲ 適切な福祉サービスの実施

### Ⅲ-1 利用者本位の福祉サービス

		第三者評価結果
Ⅲ-1-(1) 利用者を尊重する姿勢が明示されている。		
①	職員が子どもに対する不適切な関わりを行わないようその防止と早期発見に取り組んでいる。	A
②	子ども一人ひとりへの理解を深め、受容しようと努めている。	A
③	基本的な生活習慣や生理現象に関しては、一人ひとりの子どもの状況に応じて対応している。	A
④	子どもや保護者等を尊重したサービス提供について共通の理解をもつための取り組みを行なっている。	A
⑤	子どもや保護者等のプライバシー保護に関する規程・マニュアル等を整備している。	A
Ⅲ-1-(2) 利用者満足の向上に努めている。		
①	利用者満足の向上を意図した仕組みを整備している。	A
②	利用者満足の向上に向けた取り組みを行っている。	A
③	子どもの嗜好の把握に努め、家庭への食事に対する支援や情報提供など、食育に配慮している。	A
④	子どもの嗜好に応じたメニューの提供や、子どもが食事を楽しむことができるような工夫をしている。	A
⑤	子どもの喫食状況を把握するなどして、献立の作成・調理の工夫に活かしている。	A
⑥	沐浴・清拭時の快適性に配慮した設備上の工夫がなされている。	A

	⑦ 排泄時の快適性に配慮した設備上の工夫がなされている。	A
Ⅲ-1-(3)	利用者が意見等を述べやすい体制が確保されている。	
	① 施設等の運営に関して保護者等の意見を聞くための取り組みを行っている。	A
	② 苦情解決の仕組みが確立され十分に周知・機能している。	A
	③ 利用者からの意見等に対して迅速に対応している。	A
	④ 利用者が相談や意見を述べやすい環境を整備している。	A
	⑤ 相談援助の困難な場合について対処方法がルール化されている。	A
	⑥ 一人ひとりの保護者と日常的な情報交換に加え、個別面接などを行なっている。	B
	⑦ 家庭の状況や保護者との情報交換の内容が必要に応じて記録されている。	A
	⑧ 子どもの発達や育児などについて、懇談会などの話し合いの場に加えて、保護者と共通理解を得るための機会を設けている。	A

### Ⅲ-2 サービスの質の確保

		第三者評価結果
Ⅲ-2-(1)	質の向上に向けた取り組みが組織的に行われている。	
	① 保育サービス等について定期的に評価を行う体制を整備している。	A
	② 評価の結果に基づき組織として取り組むべき課題を明確にしている。	B
	③ 課題に対する改善策・改善計画を立て実施している。	B
Ⅲ-2-(2)	個々のサービスの標準的な実施方法が確立している。	
	① 園児一人ひとりの保育について配慮された指導計画が作られている。組織における個々の保育についての標準的な実施方法が定められている。	A
	② 登降園時や保育中の子どもへの対応の標準的なマニュアル等が整備され、定期的な見直しが行われている。	A
Ⅲ-2-(3)	生活環境が適切に整備されている	
	① 保育室の採光、換気、温湿度、清潔な子どもの生活空間への配慮がなされている。	A
	② 子どもが落ち着けたりくつろげたりするための工夫がなされている。	A
Ⅲ-2-(4)	保育内容が様々な子どもの発達の特性を考慮して展開されている。	
	① 登所時や保育中の子どもの健康管理は、マニュアルなどがあり子ども一人ひとりの健康状態に応じて実施している。	A
	② 健康診断の結果について、保護者や職員に伝達し、それを保育に反映させている。	A
	③ 歯科健診の結果について、保護者や職員に伝達し、それを保育に反映させている。	A
	④ アレルギー疾患をもつ子どもに対し、専門医からの指示を得て、適切な対応を行っている。	A
	⑤ 身近な自然や社会とかがわれるような取り組みがなされている。	A
	⑥ さまざまな表現活動が自由に体験できるように配慮されている。	A



	⑦ 絵本、物語などに親しみを持ち、文字、言葉、会話などに興味や関心をもてるような配慮がされている。	A
	⑧ 遊びや生活を通して、人間関係が育つように配慮している。	A
Ⅲ-2-(5) 子どもが自発的に活動できるように遊びの環境が配慮されている。		
	① 子どもが自発的に活動できる環境が整備されている。	A
Ⅲ-2-(6) 子どもへの人権、文化の相違、性差等の配慮がされている。		
	① 子どもの人権に十分配慮し、文化の違いを認め尊重する心を育てたり、性別による固定的な観念や役割分業意識を植え付けないような配慮をしている。	A
Ⅲ-2-(7) 特別な保育への対応や配慮が行われている。		
	① 乳児保育のための環境が整備され、保育の内容や方法に配慮がみられる。	A
	② 長時間にわたる保育のための環境が整備され、保育の内容や方法に配慮がみられる。	A
	③ 障害児保育のための環境が整備され、保育の内容や方法に配慮がみられる。	A
	④ 一時保育は、一人ひとりの子どもの心身の状態を考慮し、通常保育との関連を配慮しながら行っている。	A
Ⅲ-2-(8) サービス実施の記録が適切に行われている。		
	① 利用者に関するサービス実施状況の記録が適切に行なわれている。	A
	② 利用者に関する記録の管理体制が確立している。	A
	③ 利用者の状況等に関する情報を職員間で共有化している。	B

### Ⅲ-3 サービスの開始・継続

		第三者評価結果
Ⅲ-3-(1) サービス提供の開始が適切に行われている。		
	① 利用希望者に対してサービス選択に必要な情報を提供している。	A
	② サービスの開始にあたり、利用者等に説明し同意を得ている。	A
Ⅲ-3-(2) サービスの継続性に配慮した対応が行われている。		
	① 施設の変更や家庭への移行などにあたりサービスの継続性に配慮した対応を行っている。	A

### Ⅲ-4 サービス実施計画の策定

		第三者評価結果
Ⅲ-4-(1) 利用者のアセスメントが行われている。		
	① 定められた様式・手順に従ってアセスメントを行なっている。	A
	② 利用者の課題を個別のサービス場面ごとに明示している。	B
Ⅲ-4-(2) 利用者に対するサービス実施計画が策定されている。		
	① 保育計画が保育の基本方針に基づき、さらに地域の実態や保護者の意向等を考慮して作成されている。	B
	② 課題に対する指導計画が関係職員の連携のもとに作成されている。	A

③	食事（栄養管理を含む）について、アレルギー疾患など支援が必要な子どもに対して個別・具体的な支援方法が明示されている。	A
④	沐浴・清拭について、支援が必要な子どもの指導計画に基づき個別・具体的な支援方法が明示されている。	B
⑤	身だしなみや清潔保持について、具体的な支援方法が明示されている。	A
⑥	子どもや保護者等の心理面に着目した支援を行っている。	B
⑦	指導計画の評価を定期的に行い、その結果に基づき、指導計画を改定している。	B
⑧	必要に応じ保護者等への「説明」と「理解」または「同意」に努めている。	A
⑨	子どもや保護者等の情報が保育計画、指導計画の責任者に確実に伝わる仕組みがある。	A
⑩	保育計画・指導計画を適切に策定している。	A
⑪	保育計画・指導計画の評価・見直しを行なっている。	A